

山形の母なる川

最上川

vol.31

平成24年10月31日



# 倫理経営企業の素顔

第8回 南陽市倫理法人会 株式会社 家具のいづか

写真は飯塚一博社長と  
ご子息の飯塚博基課長

## 目次

鈴木隆一会長 挨拶…………… 2	女性委員会…………… 7	単会トピックス…………… 14
第8回会員大会…………… 4	平成25年度単会四役のご紹介…………… 8	倫理を学んで…………… 15
辞令交付式…………… 6	倫理経営企業の素顔(第8回)…………… 10	中村SV新年度への期待…………… 16
平成25年度県役員のご紹介…………… 7	新会長ごあいさつ…………… 13	編集後記…………… 16



社団法人 倫理研究所  
山形県倫理法人会

# 倫理を実践したくなる会を創ろう。



山形県倫理法人会  
会長 鈴木隆一

## 充実の秋

山々の紅葉が里へ下りてくる季節となりました。秋の深まりと共に人生も深まり充実させますように、みなさまのご多幸をお祈り申し上げます。

## 平成25年度がスタート

9月から新年度が始まり、9月11日には「平成25年度山形県倫理法人会平成25年度役員辞令交付式」が天童で開催されました。県役員と県内13の単位倫理法人会役員が出席し、謹んで辞令を拝受しました。事前に入念なりハーサルを行い、本番では隙のない厳粛な式典を挙行することができました。

10月5日には寒河江で「山形県倫理法人会第8回会員大会」を開催し、県内各地から多数の会員が参集しました。

倫理法人会では節目を大切に、良い節目を作るために式典や大会に力を入れます。何事も始めが肝心ですし、良いスタートには

良い後始末が欠かせません。お蔭様で新年度最初の2ヶ月は順調な滑り出しとなりました。

## 平成25年度 理念と方針

8月2日、庄内町で「山形県平成25年度方針発表会」を開催。発表した方針は県各委員会と単会が新年度の目標を設定し計画を立案する際の指針として活用いただきました。

平成25年度山形県活動理念は「この一歩から、日本創生」です。私の、今日のこの一歩から日本創生が始まる。道は自分の足元から続いている。私たちは日本創生の志を高く掲げて活動します。

そして、もう一つの理念は「仲間づくりの喜び」です。仲間づくりとは倫理の実践や会の活動を通じて生涯の友をつくること、次代のリーダーを育てること、そして新しい仲間をつくることです。倫理の仲間が成長していく姿を見るのは実にうれしいことです。この喜びを次の仲間づくりにつなげます。

## 努力を数値化し、励みにする

平成25年度の主要方針は「堅固な組織づくり」です。活動の結果を明確化し次の活動の

励みとするため、モーニングセミナー・役員朝礼・幹部研修・経営者の集い・普及活動などの参加人数の数値目標を掲げ、毎月の実績を集計し、活動の反省や改善に役立てます。

## 1750社達成と1単会設立

普及目標は「1750社 平成25年8月2日達成」です。前年度実績が1600社でしたのでそこから150社増を実現します。既存の13単会合計で会員数を50社上積みする他、7月3日に県内14番目となる新倫理法人会を設立します。村山地方の未普及地域に会員数100社で立ち上げる計画です。

## 独自の行事の開催

山形県独自の「ブナ文化フォーラム」や「山伏修行体験塾」をはじめ「朝礼基本マスター研修」「富士高原研修所 経営者倫理セミナー」受講「会報最上川発行」などを行います。

## 量的拡大と質的充実

理念と方針の基底にある考え方は「拡充」です。拡充の拡は拡大、つまり量的拡大のこと、そして充は質的充実のことです。倫理法人会を量的に拡大すると共に質的にも充実させ



せていくということです。しかし、会の拡充の前にもっと重要なことがあります。それは倫理の実践です。

### 倫理法人会の目的

私たちは「倫理法人会の発展」という言葉が好きで頻繁に使います。そして会の発展自体が目的だと思いがちですが、「倫理法人会憲章」を再度読み直してみると、「会の発展」という言葉は一言も出てきません。憲章の冒頭には「倫理法人会は、実行によって直ちに正しさが証明できる純粹倫理を基底に、経営者の自己革新をはかり…」とあり、経営者である私たちの自己革新が倫理法人会の第一の目的だと明快に述べられています。

そして「倫理法人会活動指針」の最初には「倫理の実践と学習の場を提供し…」とあります。ですから倫理法人会とはまず経営者の自己革新をはかるために倫理の学習と実践の場を提供することを目的とする団体であると言えると思います。

### 倫理を実践したくなる会を創ろう

私は、会員のみなさんの自己革新の実践に比例して結果として倫理法人会が発展するのだと思います。まず実践が先で、会の発展はあとからついてくるものです。だから、今こそ私たちは純粹倫理をもっともって実践したくなる倫理法人会を創ろうではありません

か。

### 一人一人が新しい実践テーマを持つよう

倫理の実践とは自己革新の行動であり、そこには「挑戦するぞ」という強い決意が必要です。挑戦には新しい実践テーマが不可欠です。過去においては挑戦的だったテーマでもその後の実践で習慣化し、普通に行えるようになった実践はもう実践ではありません。だから年度始めには一人一人が新しい実践テーマを決めて発表し合ってはどうか。

そして今年度のテーマを今月・今週・今日のテーマに落とし込み、実践を継続する際の励みとして自分の実践を記録し数値化し見える化するのも良い工夫だと思います。家庭や会社、地域社会で行う新しい実践テーマを決め、計画を立てて実行します。

### 創造的で温かな会を創ろう

そして倫理法人会でその実践結果を発表します。家庭のこと、会社のこと、組織運営のことなどなんでも発表します。大きな成功事例もよし小さな喜びもよし、失敗したことでもいいのです。笑顔で、できるだけ多くの人に話してもらいましょう。発表者に対しみんなで大きな拍手と励ましの言葉を贈りましょう。そんな発表の機会をそれぞれの単会が創意工夫してつくり出し、創造的で温かな単会運営を実現したいと心から願っています。倫

理法人会の中だけで発表するのではなく、新しい仲間をつくる普及活動の際にもその実践体験をぜひお話してください。

### 実践のカギは、朝の充実

万人幸福の葉の第一条は、気づいたらすぐする「即行」がテーマです。即行の実践は朝起きが基本です。また第二条は「苦難」がテーマで、苦難を喜んで受け止めることが重要ですが、朝は「苦難こそチャンス」と超前向きに受け止めることができる不思議な時間帯です。「朝は黄金の時間」という言葉は実践すれば大いに納得し、正しさを実感できる真理だと思います。

会社の朝礼も実践のチャンスです。倫理法人会の推奨する「活力朝礼」を行えば社員全員が純粹倫理を学ぶ機会となります。その際、朝礼の中で各自の倫理実践を発表してはどうでしょうか。まずは社長からです。

### 希望をもって前進しよう

日本創生へ、希望をもって前進しましょう。この秋、家庭、会社、地域、日本、そして地球のすべてが平安であるよう祈念いたします。



# 第8回会員大会



10月5日に寒河江市のホテルシンフォニーアネックスにて第8回会員大会が開催されました。平成24年度の活動及び決算報告、平成25年度の活動計画及び予算報告、そして委員長及び単会の方針発表や功労者表彰が行われ、また記念講演は「いきいきと働く職場づくり〜知的障がい者とともに歩んだ経営者人生〜」と題して日本理化学工業の大山泰弘氏が講師をつとめられました。講演後は寒河江市主幹による懇親会が催され佐藤洋樹寒河江市長のご臨席、正調最上川舟唄が披露されるなど地域色の濃い楽しい時間となりました。

## 記念講演内容

日本理化学工業は現在74名中55名の知的障がい者を雇用している。チヨーク製造の国内トップメーカーです。知的障がい者であっても企業の対応によっては立派な戦力として貢献してくれることをみなさまに知っていただきたいと思えます。

## ●無言の説法

私が入社して3年ほど経った頃、知的障がい者を教育する学校の先生が就職のお願いにきました。2度お断りをしましたが、3度目



の時に先生が「就職は諦めました。ただしこれだけはお願いたいです。知的障がい者は学校を中学で終えて、16歳で親元を離れて地方の施設に入るようになります。何日でも良いので一生に一度は働くことを経験させてやりたい」と言われ、根負けと同情から2人の女の子を預かることにしました。

従業員から「2人は今日で実習を終わる。この2週間、2人はすごく一生懸命働いてくれた。昼休みのベルの音に気づかず、肩を叩くまで仕事を続けていたんです。うちの娘と同じ年の子供が16歳で親元を離れて施設に入れられることになる。たった2人だし、社員が面倒を見るから何とかならないか？」と言われ入社させたのでした。

## ●人間の幸せとは？

ある日、法事で隣に座った住職に「不思議なことがあるのです。私の会社には字が読めない、数が数えられない社員が何人か働いています。施設で大事に面倒をみられた方がずっと幸せなのに、どうして彼女たちは毎日朝早く起きて、ぎゅうぎゅう詰め満員電車に乗って会社に来るのでしょうか」と尋ねました。

その住職は表情を変えこう言いました。「人間というものは大事に面倒みられることが幸せではない。人間の究極の幸せは次の4つです」

- ・人に愛されること
- ・人に褒められること
- ・人の役に立つこと
- ・人に必要とされること

「愛されることはともかくとして、施設で他の3つの言葉をかけてもらえるでしょうか。よくできたね。助かったよ、君が必要だ」という言葉はすごく嬉しいことなのです。嬉しいから毎日会社に来るのです」



この出来事が、人間の幸せをかなえられるのが会社なら、知的障がい者を一人でも多く雇用する会社に頑張ってみようかなと考える大きなきっかけになりました。

### ●現場での対応

彼らは人の役に立つことを喜ぶのだから、彼らの理解力の範囲内で役に立つことをつくとすると幸せを感じてやってくれる。これは交通信号がヒントになりました。チヨーク製造にこの赤と青を取り入れました。

チヨークの材料の計量では、彼らは数字がわかりません。天秤で赤い缶に材料を入れるときは赤い重りを使う。揺れた針が真ん中にくれば良いが、そのとき指を折って5数える。その説明をして作業をさせたところ、「もう終っちゃいました。もっとやっていいですか？」との報告がありました。彼らの持っている理解力で安心して作業できる工夫をすることがとても大切なのです。リーダーは「いっぺんに言ってすぐできちゃうのは凄い。助かっちゃうなあ」とすかさず誉めました。

### ●日本の職人文化



ある日ハンガリーの方から取材を受けました。ヨーロッパでは字が読めない雇用者の対象になりません。ところが当社では雇用している。どうやっているのか興味があったようです。彼らはこう言いました。日本は古くから「職人文化」を持っている。職人が手取り足取り教えて戦力として一人前にしていく文化があるから雇用できるのだと言いました。企業の職人文化が原動力になって施設ではなく企業が知的障がい者

を幸せにするのです。

私は、働くことによって得られる幸せが、生きていくうえで最も大事であるということ、彼らから教わりました。保護された施設の中にいるより、企業の中にいて周りの役に立つほうが彼らにとってもうれしく、張り合いがあるのです。一般社会で働けないなら福祉で面倒をみればよいと考えられがちですが、そうではありませぬ。周りの役に立つ仕事を与えてあげられるのは企業です。

### ●皆働社会

ベルギーでは、字が読めずに働けない人たちに、企業が働く場を用意し、そこで働く人たちに政府が最低賃金を支給する方式を導入しています。ベルギーにならって企業が障がい者を活用すれば、最低賃金分の支給が12万円程度になり、地域で自立できます。国にとっても、施設でかかる経費を軽減することができます。企業にとっても、役に立つ仕事をさせることができればプラスになります。そして障がい者を抱える家族にとっても福音になります。たまたま障がい者の子供を持ったために、年老いても死んでも死にきれないという親御さんがたくさんいます。私はこれを「四方一両得」と言っています。

障がい者が最低賃金並みの収入をもらえるようになれば、グループホームに入れます。月に6万〜7万円払えば、食事付きのケアもしてもらえます。毎月12万〜13万円の収入があれば、多少お金も残りますし、好きな物も買えて地域で自立できます。また、彼らの消費で町の活性化にもつながります。是非政府にも制度の導入を考えたいです。

世の中から必要とされなくなった人が一番不幸。必要とされる存在こそが幸福です。国民みんなが役に立って働ける「皆働社会」の実現を目指すのが日本理化学工業の使命です。障がい者だけでなく高齢者にもお役に立ってもらい、幸福を与えたいですね。

# 平成25年度 山形県倫理法人会 辞令交付式

9月11日、ほほえみの宿滝の湯にて、平成25年度の山形県倫理法人会辞令交付式が開催されました。写真は13単会の辞令交付の様子です。

▲鈴木会長



▲山形市倫理法人会



▲米沢市倫理法人会



▲天童市倫理法人会



▲寒河江市倫理法人会



▲山形市蔵王倫理法人会



▲酒田市倫理法人会



▲鶴岡市倫理法人会



▲上市市倫理法人会



▲長井市倫理法人会



▲南陽市倫理法人会



▲新庄最上倫理法人会



▲山形市中央倫理法人会



▲庄内中央倫理法人会



平成  
25年度

# 山形県倫理法人会

## 役員紹介



会長  
鈴木 隆一  
(株)でん六



副会長  
伊藤 明彦  
(株)伊藤製作所



副会長  
小島 勤  
(株)小島洋酒店



副会長  
菅原 勝安  
(株)グローバルマシーン



幹事長  
晋道 純一  
進和ラベル印刷(株)



事務長  
天口 信裕  
(株)アルファ・コム



朝礼委員  
五十嵐慶三  
(株)竹原屋本店



研修副委員長  
早坂 幸起  
(株)エツキ



MS副委員長  
鈴木 喜章  
(株)マルナカ中村商店



普及拡大副委員長  
池田 修一  
山形小松フォークリフト(株)

監査  
武田 正男  
(併)武田法律事務所

監査  
川合 賢助  
川合賢助税理士事務所

副事務長  
中村 勝義  
(株)中村勝義建築事務所

副幹事長  
原 行雄  
(有)はらコーポレーション

名誉会長  
本間 利雄  
本間利雄設計事務所



相談役  
三浦 孝太郎  
(株)三浦板金製作所



女性委員長  
土屋 玲子  
(株)ハイテックシステム



広報副委員長  
大場印刷(株)  
関原 新

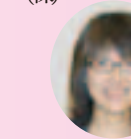
相談役  
中村 恒一  
(株)マルナカ中村商店

相談役  
近 清剛  
(株)三奥屋

相談役  
熊谷 眞一  
(株)シベール



青年委員長  
池田 知之  
(有)サンジン



女性副委員長  
伊藤 みよ子  
(株)ひまわり

朝礼副委員長  
西塚 誠一  
(株)明友

## 女性委員会



女性委員長  
土屋 玲子



Q: どんな委員会にしたいですか?


倫理法人会の中では、やはり女性会員様はまだまだ少ないのかなと感じます。

一人でも多くの女性の方に、倫理の実践のすばらしさを実感していただくためにも、各単会の女性委員の方にご協力をいただき連携をはかりながら活動をして参りたいと思います。女性が生き生きとして「活気がある」「明るい」と言っていただけのような委員会を目指したいと思います。

Q: 主な活動は?

大きな活動は3つあります。1つ目は「女性倫理講演会」。仕事や家庭にお役に立てる内容とし、また非会員様の普及も含めて活動致します。2つ目は、「ブロックランチ会」の開催。他単会の女性会員との交流をはかりお互いの活動の活発化をはかります。3つ目は、「農場体験」。日頃お世話になっている食への感謝や経営の学びにつなげます。以上の活動を通して交流と普及に努めたいと思います。

### 寒河江市倫理法人会






会長 海野 晋  
副会長 杉沼 清二  
専任幹事 小松 健一  
事務長 菅田 吉廣

### 酒田市倫理法人会







会長 木田 昭三  
副会長 堀 豊明  
副会長 山本 隆  
専任幹事 佐藤 英夫  
事務長 佐藤 清和

### 上山市倫理法人会






会長 田島 誠一  
副会長 堺 健一郎  
専任幹事 谷江 正照  
事務長 荒井 幹雄

### 鶴岡市倫理法人会







会長 栗本 正幸  
副会長 佐藤 裕宣  
副会長 佐藤 純子  
専任幹事 佐藤 和人  
事務長 荻原 拓哉

### 米沢市倫理法人会






会長 相田 晃輔  
副会長 中村 恵一  
専任幹事 宮下 徹  
事務長 石井 輝雄

### 新庄最上倫理法人会






会長 田中 栄造  
副会長 荒川 英利  
専任幹事 中鉢 義邦  
事務長 竹田 正弥

### 長井市倫理法人会







会長 加藤 眞佐夫  
副会長 高石 一夫  
副会長 目黒 憲夫  
専任幹事 小関 利一  
事務長 那須 孝

### 庄内中央倫理法人会











会長 富樫 幸吉  
副会長 小野木 重弥  
副会長 渡会 巖  
専任幹事 國分 浩実  
事務長 豊嶋 糸子

### 南陽市倫理法人会

会長 和田 廣  
副会長 高橋 良一  
専任幹事 飯塚 一博  
事務長 青木 勲



平成25年度

# 単会四役のご紹介



## 山形市倫理法人会



会長 小松 幸弘  
副会長 大風 茂吉  
副会長 岩見 信弘

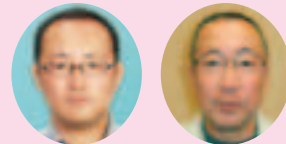


専任幹事 佐藤 敬一  
事務長 加藤 章

## 天童市倫理法人会



会長 水沢 正志  
副会長 加賀 善雄  
副会長 仲野 益美



専任幹事 高橋 進一  
事務長 柴田 和善

## 山形市蔵王倫理法人会



会長 板垣 喜代志  
副会長 横澤 清治  
副会長 佐藤 靖之



専任幹事 鈴木 重幸  
事務長 金田 雄介

## 山形市中央倫理法人会



会長 布施 富将  
副会長 今田 早百合  
副会長 新田 裕之



専任幹事 松田 浩  
事務長 市村 清勝

# 倫理経営企業の素顔

## 第8回

### 南陽市倫理法人会

### 株式会社家具のいづか

南陽市倫理法人会、飯塚一博専任幹事のお店「B家具・アウトレットiizuka」を訪ねました。アウトレットとは、全部新品なのに、くだから、くなので、くというワケでという「理由あり家具」を激安で販売する業態です。



店内のBGMで、一流メーカーから一般のルートでは流通させられない傷モノなどの在庫家具をまとめて引き取り、お客様に破格の安さで提供していることをお店の特長として盛んに訴えています。また、商品に掲示してあるPOPには説明が細かく記載して



あり、お客様が一人で商品を購入できるようなっています。現在、置賜に家具屋は4軒しかなく、南陽市にはうちの店しかない。置賜で暮らす人々のためにも、何としても家具店を続けていかなければならないという飯塚社長にお話をいただきました。

#### ●活力朝礼について

私たちは商人ですからね。倫理法人会に入会する以前から、やり方は違いますが挨拶や礼については徹底していましたし、元氣な朝礼をやっていました。そこに『職場の教養』の輪読を採り入れたのです。

『職場の教養』には社長として社員さんに言いたいことが実践事例として非常によく書かれてあります。また、自分が言い足りないところを補ってくれています。「社長まゝた始まったよ」とならず、私が伝えたいことが伝わりやす。これほど良いものは他に無いと思います。

活力朝礼を始めて、社員さんは考えること

をしだしました。読後の感想の内容を考えるというのももちろんですが、何よりも輪読です。真剣に文章を読んで、皆に公表することが簡単なようで非常に難しい事なのです。MSの時と同じように、輪読の中で、もしごまかしたり、ミスをしたら必ず「もう一回！」とやり直しをさせられますので、どうすれば良いかを皆がよく考えるようになりました。また、全国の会員企業の方達が、同じ事をやっている。これは凄い事だと常々社員さんに言い聞かせています。

この『職場の教養』輪読が社員さんを大きく変えてくれました。全員の挨拶、返事の声が大きくなりましたし、礼もきちんと揃うようになりました。すなおに社長の指示を受け入れ、何ら抵抗なくハイの返事ができるようになりました。

朝礼以外は配送や外商の係は外に出ていくのでバラバラになります。全員が揃う朝礼の間がとても大事な時間なのです。朝礼ではその日の行事予定や作業状況が全部報告されます。全員が全員のスケジュールを共有し、それぞれの行動の把握もします。昨日はお客様がこうだったから、今日はこんな準備を





しようというような計画も立てています。

活力朝礼コンテストに息子を含め2名が参加して相当刺激になったようです。2人は朝礼の基本動作を良くわかってるわけです。会社での朝礼をみると差が判るようで色々工夫をしているようです。

朝礼が始まると皆は緊張感を保ちます。このきちつと緊張するというのは人間として良い事かもしれません。これが慣れっこなると、ダラダラになってきます。この慣れっことの戦いですね。現在、葉輪読の導入などを検討しています。

一度自分がいないときの活力朝礼をみてみたいですね。全員がきちんとしていてと思います。社員さんも仏壇に手を合わせるのと同じように、朝礼をやらないと気持ち悪い状態になっているようで、「あれ？社長、朝礼は？」と言ってきて「あっ、そうだそうだ」となってしまいうぐらい習慣になっています。

### ●業態変革

家具の売り方がこの15年くらいで随分変わりました。かつては顔と根回しで外へ出かけて売ってくる外商が主流でしたが、今は店そのものが顔であり、店舗のイメージで売っていくスタイルになっています。この変化は婚札家具を買わない、持っていかない人が増えてきて売れなくなってきた頃からです。

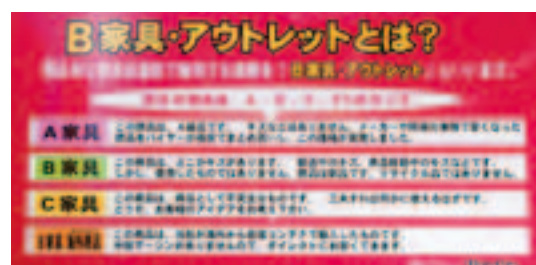
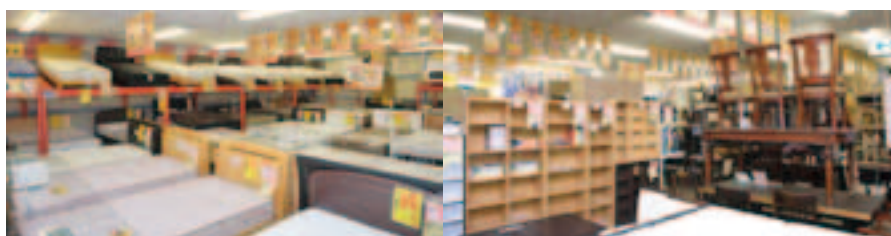
昔は婚札家具を主に紹介で売っていたもの

でした。どここの娘さんの婚札が決まったとなると「いづか家具ですが婚札家具はお決まりですか。」と売りに行ったものです。これが主流でしたが段々それが無くなってきて、売り方を変えることが必要になりました。

店舗イメージがとても重要でして、3年前に店舗のイメージをまっかっかにしました。それと〇〇家具店(屋)という名称も特長が

ありません。わが社の場合にはアウトレットということに「B家具・アウトレット i i z u k a」としました。売っているものは家具ですから同じものなのですが、売り方としてあれ？何だろう？と思わせるようなイメージにしています。今はアウトレットのイメージが大分浸透してまいりました。

なぜ安くなっているのでしょうかというはつきりした理由がないと今のお客様は買わないです。昔は配達をした家具にちよつとも傷があると、お客様がこれじゃ駄目と言って返品となり持ち帰ったものです。こ



れが頻繁にあつて随分コストがかかっていました。

それを逆手に取った売り方が今の売り方なので。中古ではなく全部新品なのですが、売る時にここにこんな傷があります。だから市価よりも2割3割安いのですという表示をすることで、1件も返品が無くなりました。これだけでもすごいコスト削減なのです。最近では「この家具は傷ないんですか？」と聞かれるほどです。

お客様はインターネットを必ず見てきます。戦う相手は近辺の家具屋さんとインターネットです。例えば4人用の食堂セットを買おうとします。その相場価格をお客様は調べてきます。家具の場合は家電と違って品番がありませんので、お客様はおおまかに画像で見てください。

### ●若い社員さんが売り場に活気を出す

社員さんが若くなってきていますが、昔ですとある程度年配でないと信用が無くて売るにもなあと思つたものでしたが、今の若い社員さんは簡単にパソコンをいじれます。それが良い点です。ネットで調べて商品の相場を

すぐに教えてくれたり、スピーディに店内のPOPを簡単に作ったり、広告宣伝でも手伝ってくれます。

アウトレットはどちらかと言うと、店内を社員さんがキビキビと動かないと活気なく見えてしまうので、若いと動きは全然違います。

店舗では大きな声で挨拶、返事を徹底しています。それと、お客様に警戒心を与えないというのが一番大切なのです。ですから、お客様にすぐにピタッとつかないようにはしません。そのために社員さんには店内を動いていなさいと指導しています。動いているとお客様はちょっとお願いと話しかけてきてくださいます。

売ろう売ろうと言う気持ちを出さないで、とにかく自分はしゃべらない。何でもよいのでお客様にしゃべらせて聞き役に徹するようになっています。

もちろんきちんと接待はしておりますが、それでも私は入ってくるお客様より帰っていくお客様の表情が心配です。どんな顔でお帰りになられたのか。これは買っても買わなくてもです。高かったね、話しばっかりだね、店員の対応が悪かったねとか、アンケートよりは生の声が聞きたいです。入口を出た瞬間のお客様の反応が一番ですから。車に家族が乗ってドアを閉めた途端の会話がとても気になります。

## ●事業承継に向けて

息子は現在課長職。介護の方をさせています。後継に関しては安心しています。息子は多田木工さんに研修に出しました。先代の竣一社長に置賜のウエルランドをFCとして任せてくれと頼んだ経緯からです。本当は同業者である私にさせたくなかった、自分も置賜に進出したいと思っていたと思います。彼は義理人情がある方だったから、何度も頼んだら許可を下さった恩義があります。ついでにうちの息子も頼むと言ったらいいよと言ってくれました。

息子が研修から戻ってきて、『職場の教養』を見てこの本知っていると言うのです。うちの息子は多田木工さんで『職場の教養』を読まされたと言う。従業員にとってはさせられた感覚ですね。それを今真剣にやっているのだから面白いものです。分母は家具の方が大きいので段々家具にも興味を示してきています。一緒に九州に仕入れに行ったりして将来のために仕入れを勉強中です。

## ●読売ジャイアンツのファン

私は読売ジャイアンツを永久に応援し続ける決意です。勝っても負けても報知新聞の愛読者です。経営において特に原辰徳監督のコメントは勉強になっています。原監督のコメントはいつも「明朗」であることです。

今年の春にジャイアンツが5連敗を2度してリーグ優勝が絶望視されていた時に、原監督が奨められて読んだ本に「ツキを呼ぶ魔法の言葉」があったそうです。私もそれを知ってその本を買い求めました。

報知新聞にあった、原監督のコメントに、「自分のために何かをしてくれてそれに感謝するから有難うではない。有難うは難が有ること。難があっても今こうしていられる。小難で済んだことに対して有難うなんだ。奥深い面白い言葉。5連敗を2度したときも誰も怪我なく今年戦うメンバーが元気にグラウンドに立っていた。それこそ小難で済んでいた。まさに有難うだよ。」とありました。私も原監督にならってこの本を座右の書とし、「感謝します」「有難う」「ツイてる」を使います。

また、倫理を学ぶと心が変わる。倫理を学ぶと行動が変わる。倫理を学ぶと習慣が変わる。倫理を学ぶと人格が変わる。倫理を学ぶと運命が変わる。倫理とはそういうものではないでしょうか。そんな倫理を学びながら、これからも地元の皆様にあえられる家具屋として頑張って参ります。





## 新会長「あいさつ」



山形市倫理法人会  
会長 小松 幸弘

今年度会長を仰せつかりました小松幸弘です。事務長、専任幹事、普及拡大委員長と要職を経験させていただきましたが、昨年は山形市中央の事務長をしていました。それが突然の指名で、何かわからないうちに「倫理はいい」でお引き受けしました。周囲も私もビックリです。会長になったうちは、皆様のお世話役のリーダーとして、精一杯やらせてもらうつもりです。

(明るく元気に笑顔で会える)倫理法人会を目指して役員はじめ会員皆様の力添えをいただきまして一歩一歩確実に前進するつもりです。県内で最初に設立した単会の伝統を守りつつ、改革の必要に応じ大胆に新風を入れます。山形市3単会と共存共栄をはかり、この地域に日本創生をすこしでも根を張れるようにしたいと強く思っています。



寒河江市倫理法人会  
会長 海野 晋

正直、若輩者ではない会社の社長でしかない私が会長という役を拝命することに躊躇しました。その理由は、私個人の力量だけでは到底無理だということ、倫理の実践的に不任ではないかということ。また、歴代会長に比べ、倫理の理解もネームバリューもなく、顔も広くない駆け出し社長であり、通常なら務まらないということ。

ですが、引き受けました。当社は決して順風満帆な会社ではありませんので「社長の私が育たなければいけない、私が育てば従業員も育ち、マンパワーを持ったいい会社なるはずだ」と考えていた所へお話が来たのです。『器が人を育てる』ともいいますし、最上川29号で鶴岡市の伊藤前会長も『会長になると会社が成長する』と書いておられました。また、役員の皆さん、会員の皆さんが応援してくれました。皆さんの力を借りてなら「引き受けられる」と踏んだのです。会員企業の皆さんのためにも、当社のためにも、家族のためにも一意専心役目を務めさせて頂きますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。



酒田市倫理法人会  
会長 木田 昭三

伝統と実績のある酒田市倫理法人会の会長を拝命してから一ヶ月が過ぎようとしています

すが、毎日毎日が緊張の連続である。

酒田市倫理法人会では、本年度の重点目標として、生涯の友をつくらう、であります。せっかく倫理という学びの場で知り得た友である、この場を活用して、真の友人、知人をつくらう、であります。その結果の波及として一年間の目標である175社の会員の達成であり、又モーニングセミナーに於ける50社90人の参加と、いろいろな課題が次から次へと達成することが出来る。なんと云っても倫理は普及拡大のポイントである。普及拡大委員会を中心にして毎日毎日少しの時間でもいいから、地道にこつこつと、普及拡大に努力してもらいたい。努力にはスランプもないし、裏切りもない。やっただけ必ず結果が出る。努力の樹には勝利の花が咲く、である。以上酒田市倫理法人会は3つの目標を掲げて「オール酒田」で走ります。

幸いにしてこの一ヶ月間の役員朝礼に参加する人数も以前より多いし、若い人の活発さには目を見張るものがある。この芽をしっかりと支え、摘むことのないよう運営したい。



鶴岡市倫理法人会  
会長 栗本 正幸

県内倫理法人会会友の皆様はじめまして、本年度新しく鶴岡市倫理法人会会長を仰せつ

かることになりました栗本正幸です。秋山周三相談役が鶴岡に倫理法人会を立ち上げ、畑田一志前会長、昨年度の伊藤みよ子直前会長、役員の皆様が組織としての鶴岡市倫理法人会をより磐石なものとしてくださいました。

微力ではありますが、頂いたお役を精一杯務めさせて頂くとともに、役員の皆様と共にさらに地域のお役に立てる会にしていきたいです。

つきましては、会員の皆様には、今以上のご支援と、毎週木曜のモーニングセミナーへの出席、そして各レクリエーションや行事への参加など、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



長井市倫理法人会  
会長 加藤 眞佐夫

長井市倫理法人会も設立5年が過ぎ、6年目を迎えております。3代目会長としてこんな厳しい環境の下での船出に会長になってしまったのだろうかと思っていました。苦難は幸福の門と葉の2条に記されておりませんが、現在の社会状況は過去のそれとは比較にならないほど厳しいものです。とは言っても当然ながら会社の社員にはそれほどの危機感はないものだと思います。社長にしか味わ

えない感動や喜びがある以上、同等以上の努力、辛労があつて当然です。こういった考えが出来るようになったのも倫理法人会の会員のみなさんと共に倫理を学べたお陰と思えます。会長として会員の交流の場を作り共に深くお互いの長所を知り、話し合いの場をより多く持ち、共に何が出来るかを考え実践することによって良い結果を出して地域社会にアピールし、会員の輪を広げてゆきます。



新庄最上倫理法人会  
会長 田中 栄造

この度、新庄最上倫理法人会の会長を拝命致しました。2009年7月に県内単会の皆様の熱い情熱により発会した当会も足かけ4年目を迎えました。初代鈴木富士雄会長のもと、この新庄に灯された倫理の火を燃え盛るキャンプファイヤーのごとく大きなものになりたい、そのような希望を胸に歩んできた3年間であります。今年度は、ご参集いただいたこの地での会員との絆を大切に、切磋琢磨しながら、自分磨きに努め、そして、万人幸福の道を探りながら、明朗、愛和、喜働の精神を忘れず精進してまいります。倫理活動は、実践がまず第一。「実践倫理」とはなんなのか。モーニングセミナーや経営者の集いなどを通じて、出来るだけ多くの人たちに理

解していただくよう努力してまいります。会や組織運営はまさに経営そのものであると思います。会社は働く社員がいて初めて成り立ちます。倫理法人会も集う仲間がいて初めて運営が出来ます。皆様の力添えをいただきながら、自己研鑽、仲間づくりを励んでまいります。皆様のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

## 新入会員セミナー



天童市倫理法人会  
副専任幹事 松田 光昭

天童市倫理法人会では初めて新入会員を対象とする「新入会員セミナー」を9月14日（金）に栄屋ホテル様において開催させていただきました。

新入会員の方に限らず、役員の方々も含め総勢16名が参加いたしました。

セミナーでは山形県倫理法人会副会長 伊藤明彦氏より倫理について「今週の倫理771号『実践を楽しむ、心の通う仲間づくり





へ」をもとにご講話いただきました。

倫理法人会の特色や伊藤副会長ご自身の実践体験について分かりやすくご説明いただき、新入会員ならずとも倫理の理解を深めることが出来ました。

セミナーの後は懇親会も開催し、親睦を深めました。

## 倫理を学んで



上市市倫理法人会  
会長 田島 誠一

倫理の仲間がよく振り子の原理を話してくれます。

いい事ばかりつづくこともないし、悪いことばかりつづく事もない。振り子は必ず、プラスに振れたら、マイナスに振り戻すのが常識です。私ごとですが、なかなか振り子がプラスに振れてくれません。そんなドキドキした毎日が続いた中で、気持ちを明るくしていきないと前向きな気持ちや、新しいことに目向かせませんよと言う言葉を聞きました。会社の中では自分が一番理解しているつもりでしたが、気持ちと裏腹に社員を責めたりしている自分に気付きます。しかも悪い癖で、何も

かもが、めんどくさくなります。倫理はそんな自分を客観的に見せてくれます。



米沢市倫理法人会  
青年委員会副委員長 青野 直城

万人幸福の葉の第4条に「人は鏡」という言葉があります。

私が倫理を学んで感銘を受けたのがこの言葉です。

今まで日常生活や仕事上でうまくいかなかったりすると、人のせいになりたり、自分は悪くないと心の中で思ってしまうことがありました。

しかし、この「人は鏡」という言葉を知ってから、うまくいかない原因はすべて自分にあるのだと思うようになりました。

まず自分が変わること、そして自分が変われば自ずと周りもそれを受けて良い方向に変わっていくと思います。

倫理を学んで気づくことはまだまだたくさんあります。これからも倫理法人会を通じて多くの気づきを発見しそれを周りの人にも与えていけるような人になりたいと感じました。



## 事務局移転しました。 (長井市倫理法人会)

〒993-0007

長井市本町二丁目13番14-1

TEL 0238-87-0385

FAX 0238-84-7554



長井市倫理法人会は、9月1日より事務所を移転いたしました。加藤眞佐夫新会長の「会員がいつでも気軽に立ち寄れるようにしたい」という願いが叶い、今は常に役員が立ち寄り、明るい雰囲気の中、有意義に活用しております。

今後は広いスペースを活かして、会員企業のPR活動などを検討し、那須孝事務局長を中心に頑張ってください。駐車場も広く、花屋さんでMS委員長の佐々木文雄幹事の協力のもと、花を飾って皆様をお待ちしています。

また、県内倫友の皆様を、高橋幸子事務局



員が笑顔と温かいコーヒーで歓迎いたしますので是非事務局へお出でください。



# 新年度への期待



山形県倫理法人会相談役  
法人スーパーバイザー 中村 恒一

昨年度は、充実感に満ちた一年であったと思います。偏に、会長を中心に日頃の学びに基づいた実践の成果と敬意を表します。

お陰様で、全国各地の訪問先では、山形さんはすばらしい活動を続けておられて凄いですね、とお褒めの言葉を頂く場面が増えてきました。とても嬉しい瞬間なのですが、喜んでいる間もなく頭の片隅で、名優が「うまいと拍手されるような事ではだめだ」と語りかけてくるのです。

さて、当会24年度は、設立20周年を祝い、1600社超の会員を擁する立派な社会活動団体に成長しました。

これまでの足取りを振り返ってみると、平成2年10月15日準倫理法人会、翌3年9月18日105社をもって山形県倫理法人会が設立され正法人会としてスタートしました。その後、漸く平成12年5月15日山形市倫理法人会、同年5月19日米沢市倫理法人会が、さらに翌年8月30日天童市準倫理法人会が54社で開設し会員総数280社をもって9月18日10

周年記念式典を挙行了しました。

仮りに、この期を第1ステージとします。

次の発展期は、第2ステージとなります。平成14年7月天童市設立/15年7月寒河江市/16年3月山形市蔵王/16年6月酒田市/7月鶴岡市/平成18年5月上山市/19年5月長井市/19年7月7日会員総数1022社第2回会員大会・15周年記念・1000社達成祝賀会/平成20年9月南陽市/21年7月新庄最上/平成23年9月山形市中央が設立し県設立20周年を祝いました。24年5月庄内中央を設立し山形県の会員総数は1600社を超えるまでになりました。

いよいよ25年度は、第3ステージの始まりです。

私たちの活動は近年とみに多くの事業所、企業家から認知されるようになりました。しかし、まだまだ空白地域がありますのでそこを埋め、それと並行して大きな運動体にしてゆかねばなりません。諸団体や県、市、町といった行政、教育機関や外郭団体等々への積極的な働きかけを行い、確たる市民権を得ること考えます。

ひいては山形から「日本創生」と夢をみています。



## 編集後記

山形県倫理法人会  
広報委員長 土屋 和浩

何年か前の天童市MSでのこと。朝の挨拶をやり直させられたことがありました。理由は全員が壇上のリーダーの顔を見ていなかったことでした。私も手帳を探しながら、顔を見ずに「おはようございます」でした。誰も見ていないからと、みんながやってくれるからと、挨拶は相手の顔を見てという当たり前のことができなかった。省みるべきは「MS慣れ」です。

MSが休みの日にそうとは知らずに会場に来てしまった。心の中ではがっかりです。このがっかりが二度と来るとなるのが怖い。知恵を絞れば、幹事のちょっとした努力でがっかりを感動に変えることもできます。それは休みは休みという常識の奥にある宝の山かもしれません。日常の「油断」が試されるのもMSです。



URL  
<http://www.yamagata-rinri.net/m/>